

生活クラブは、山形県庄内地方の酒田市と連携し「住まい」「地域と交流する場」などの機能・施設をつくる「TOCHiTO」プロジェクトをすすめています。酒田市や施設を整備運営する事業者とともに、「庄内で暮らすを検討する会（以下、検討会）」を開催しながら、組合員参加型で生活クラブらしい拠点づくりを目指しています。「TOCHiTO 通信」は、検討会や TOCHiTO 関連の情報を定期的に紹介するために発行しています。

Facebook 産地で暮らす Facebook 酒田市在住の広報担当佐藤さんが更新している「産地で暮らす Facebook」庄内の季節の風景・イベントや暮らしなどを毎週更新しています。https://sanchide-kurasu.jp/



## — 第8回「庄内で暮らすを検討する会(9月30日)」開催 —

### TOCHiTO の交流棟2Fのシェアオフィスメンバーを紹介！

9月30日、酒田総合文化センター & Zoom で開催されました。

今回のテーマは、TOCHiTO の交流棟2Fの「シェアオフィスメンバーを紹介します！」。入居を検討している7団体（ボランティア団体「さかた男塾」「合同会社東北プライド」「株式会社庄内自然エネルギー発電」「合同会社地域総合商社」「リライフルビア」「株式会社 JISUKE」・居住予定者お一人）から何を行っているか（あるいはこれから何をやりたいか）をまずプレゼンしていただきました。

「地域にある資源や宝物を知り、自分たちが住むところにプライドを持つ人をもっと増やすにはどうするか」、「酒田で自立したシニアの生き方を模索しています！」、「酒田のまちおこしのために同級生2人でUターンしました。不動産事業を中心に企画・イベントなんでもやります！」、「お墓参り代行、家事代行、各種講座開催等、酒田で“もりもり”ががんばっています」、「コミュニティセンターなどを回りながら『庄内ちいき食堂』を展開しています」などのとても多彩で元気あふれるプレゼンが続きました。

併せて株式会社「庄内自然エネルギー発電」からの報告があり、さらには TOCHiTO 入居予定者でかつシェアハウスにも入居予定の方から、「TOCHiTO 入居後は本業のテレワークを続けながらタイマッサージ店を開きたい」との発表もありました。

各団体の発表の後には、TOCHiTO の居住棟へ入居検討されている方々との積極的な意見交換です。空家を軸にしての地域経済活性化や援農をどう具体的に展開していくか、など、活発なやり取りがなされました。来年3月からの入居開始が待ち遠しい、との声も聴かれた検討会となりました。



酒田市総合文化センター & Zoom の「庄内で暮らすを検討する会」。鎌田先生（東北公益文科大学准教授）のコーディネートで、酒田市の総合文化センター（9名）、Zoom（1名）が参加。

TOCHiTO  
「ing」

### 来春竣工へ向けて工事が着々と進行中

4月の地鎮祭から半年が経ち、交流棟の基礎工事がほぼ完了。これから木造骨格の建て方が始まり、その後屋根工事・外壁工事・内部造作の工事が続きます。

居住棟は地盤改良工事が終了。11月中頃に基礎工事完了後、上棟式（12月16日予定）を経て、屋根・外装仕上げ工事、内部工事と続きます。

大枠完成は、交流棟が1月下旬、居住棟が2月下旬ですが、外構工事は積雪の状況を見ながらの工事となります。



とちとさかた

検索

庄内ちょっと暮らし滞在 (2022年10月1日)

## 遊佐を巡る農業と自然の秋の1日

晴れ上がった秋空のもと、庄内みどり農協の金子さんと遠田さんに案内していただきながら、遊佐のパプリカ(砂丘地と中山間地)・アスパラガス・庄内柿・共同開発米の各圃場を見学し、直接生産者から説明を聞きました。パプリカ栽培は遊佐町とソルノク市(ハンガリー)の姉妹都市交流が縁でハンガリーから種を持ち込んだとの話にびっくり。一方、生産現場は高齢化や肥料等の高騰に加え、高価な農機具の購入費用の工面等、厳しい局面にある事を改めて知りました。共同開発米の圃場のもつ環境保全や飼料米栽培による食料安保等の意義を伝えていただきました。増える耕作放棄地は農業法人等として借り受け、地域全体で産地と共に生きていく決意です。帰路の途上、大型コンバインの迫力ある稲刈りと袋詰めの様子を間近で見学でき、遊佐の雄大な自然の中で、命の糧を生み出す人々の力強さにふれた1日となりました。(広報担当佐藤記)

### 参加者の感想

- ・農家の方の手伝いをしたいとずっと思っていたが、今回具体的に作業内容を直接聴くことができイメージがはっきり掴めた。
- ・「生活クラブが(価格を決め)買ってくれるのでやる気ができるし生活していける」との生産者の言葉に、あらためて生活クラブの活動意義を感じた。
- ・生活クラブへの生産者の信頼感を強く感じた。50年の歴史の積み重ねだと思う。
- ・生産現場が見られ、お話もいっぱい聞けて、内容も盛り沢山でとても有意義でした!

### 今回のコース

10:00 酒田市役所集合→遊佐の生産者訪問:柿・パプリカ・アスパラガス(夢都里路くらぶの案内)→遊 YOU 米の圃場紹介→遊佐の自然:釜機→16:00 酒田市役所解散



啓翁桜(冬に咲く桜で主に正月の観賞用)は、通年の農作業雇用確保の一環で冬場作業として昨年からはじめた



庄内柿の枝は作業しやすいように、人の頭の少し上になるようになっている。長年の剪定の賜物。毎年、夢都里路くらぶ(生活クラブ労働参画)から収穫作業に訪れる



共同開発米「庄内遊 YOU 米」は、農薬や化学肥料も県基準の半分以下で栽培。遊佐町の米農家の約6割が生産者。おいしい新米、間もなくお届けします!



大きなコンバインはいろいろなアダプターを取り付けると1500万円になるものもある

## 庄内人紹介③ 「思い」による参加が、これからの未来を切り拓く!

～鎌田 剛さん(東北公益文科大学 学長補佐 地域福祉コース准教授)

2005年から東北公益文科大学にて、教育では福祉人材育成、研究では医療と地域との連携をテーマにしています。同時に、「伴走する地域づくりを使命」とし、2013年10月、本学が文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」に採用され、その担当者となって以降、本格的に取り組むようになりました。

生活クラブとの関係は、伊藤由理子さん(当時・共済連常務理事)が地域資源調査で本学に見学にこられたのが始まりです。生活クラブのFEC自給圏を知り、また食を通じて産地と消費地がつながる酒田市の移住政策にも強い関心を持ち、「TOCHiTO プロジェクト」に関わるようになりました。

「地(知)の拠点整備事業」の担当者として全国を視察する中で、元気な地域では、住民が使命感や情熱といった「思い」を持ちながら参加をしていることがわかりました。TOCHiTO プロジェクトでも、各地の先進事例を関係者で

一緒に視察し、話し合いを重ねる中でも、「やっぱり(義務・責任ではない)思いによる参加する暮らし、だよな」とイメージが固まり、それをプロジェクトのメインコンセプトに据えました。

これらと並行し、鶴岡市近郊の小堅地区にて、シェアハウスづくり・地域ビジョン策定・あそび場づくりに取り組み、その実践から、思いによる参加が、地域を元気にし、未来を切り拓いていくことを確信しました。

来年3月から TOCHiTO への入居が始まります。自分ができること、やりたいことなど、それぞれが自分らしさ溢れる思いを持ち寄り、自分が、地域が、未来が元気になる暮らしを実現していきましょう。

インタビューのロングバージョンはWEBサイトをご覧ください。  
「生活クラブ 産地で暮らす」→「デジタルブック」→「TOCHiTO 通信」



## 今後の「庄内で暮らすを検討する会」開催予定 ※回数は2021年度からの通算です。

・第9回 2022年11月26日(土)「TOCHiTOの居住棟と交流棟のしくみをおさらいします(仮)」

【開催時間】14時～16時 【開催場所】酒田市交流ひろば\* & Zoom 全て共通です。現地見学会: 検討会の午前中(9:30～11:00)に、同じ開催場所にて開催します。庄内ちょっと暮らし滞在: 検討する会の開催日の前日と後日に開催します。

→上記に関する詳細情報及び参加申込み受付はWEBサイト「産地で暮らす」にて。皆様のご参加、お待ちしております。

\*酒田市交流ひろば: 山形県酒田市3-4-5